

～中山間地で規模拡大 耕作放棄地に他地域の農家受入～

長野県上田市

取組主体: JA信州うえだ

取組開始時期: 平成24年

解消面積: 5.0ha(平成25年時点)

導入作物: レタス

1. 取組のきっかけ・経緯

JA信州うえだは、中山間地の耕作放棄地を整備し、規模拡大を目指す他地域の野菜農家の受入を促す取り組みを始めている。

上田市殿城地区は、高齢化が進み耕作放棄地が増加している状況にあるのに対し、同市菅平地区では、規模拡大とりわけ標高差を利用した作期拡大を希望する農家があった。

このことから、JA信州うえだは、地域住民、行政等と連携して、耕作放棄地を整備するとともに、他地域の野菜農家の殿城地区への受入を推進することとした。

2. 取組内容

平成23年度から耕作放棄地を含めたほ場整備や農業用水施設整備を行い、農地としての再生事業を実施し、耕作放棄地の解消面積は5haとなっている(平成26年度まで実施予定)。

また、市・JAが連携して、菅平地域の大規模野菜農家に対し殿城地区での作付けを推進するとともに、経営モデルの提示及びレタス栽培技術の支援を実施した。

生産物は全量をJAを通じて市場出荷しており、平成24年度の実績は1万7千ケースとなっている。

3. 今後の課題・予定など

荒廃農地の再整備とともに、灌水施設、集出荷施設の整備を実施し、担い手の誘致を図ることにより、レタス長期出荷体制の確立を図り、野菜大規模農業者の経営安定を図る。

また、これにあわせて、人・農地プランへの位置づけ、鳥獣被害対策の実施を進める。

なお、平成26年度までに20haの耕作放棄地を解消する予定である。

4. 活用した補助事業

- ・(県)中山間地域総合整備事業(補助内容: 耕作放棄地を含めたほ場整備、農業用用水施設整備)



再生後